

## 平成 28 年 6 月総務企画委員会 議事概要

H28.6.27 作成

日 時：平成 28 年 6 月 21 日（火） 18:00～19:35

会 場：建築士会 会議室

出 席：（担当副会長）長田 喜樹

（委員長）芝 京子 （副委員長）山成 芳直

（委員）加藤 高明、伊藤 誠一、村島 正章、沼田 有二、八重野みどり、

欠 席：（委員）天神 正志、加藤 清、菊嶋 秀生、玉野 直美

オブザーバー：須藤専務理事

### <確認事項>

#### 1 前回(5/25)議事録の確認【資料 1】

メーリングリストで事前送付済みの原案について、一部修正の上承認された。

### <協議事項>

#### 1 委員会等の見直しの検討の方法【資料 2】

- ・専務理事より、5/31 の通常総会で報告された監事からの監査報告について、概要を改めて説明。また、総務企画委員会において H28 年度予算案の検討の際、会長方針を踏まえて各委員会に対して指摘した事項（講習会事業等における受益者負担のあり方や担当副会長・常任理事が調査した講習会等の実施状況について説明。
- ・副会長より、
  - ・従前から本県士会の組織・業務のあり方については、議論があったこと。具体的には、委員会・部会構成の妥当性、講習会・見学会事業の重複や採算性など。このことについては、正副会長・常任理事会で担当副会長・常任理事を定めて、見直しの検討を開始していること。
  - ・今回の監査報告でも、間接的ではあるが、監事からこうした課題への指摘があったこと。
  - ・総務企画委員会では、既に専務説明のとおり予算審議において士会横断的なチェックを行っているが、正副会長・常任理事会での見直し検討作業を充実させる意味で、総務企画委員会においてもさらに広く組織・業務見直しに関する議論を期待したいこと。

と説明。

（質疑）

（委員長）・監査報告書の受領と総会での報告だけでなく、その後意見交換も行われたようだが、その理由は？

（副会長）・言いつばなしに終わらせたくない、との当事者の思いによるもの。

（副委員長）・企業でいけば、監査役の役割は、会計処理の適正さのチェックや、取締役等の役員が担当業務を誠実に履行しているかのチェック。組織や業務の見直し指摘は、むしろ取締役会における社外取締役等の役割。士会の具体的な運営について監事から直接の指摘を受けるという状況は、やや違和感あり。

（伊藤委員）・監査での指摘に対しては、個別具体的にリアクションする義務があるのか。また、対応は会長の権限だけでは行えないのか。総務企画委員会での議論や意見提出が必要なのか。

- (専務理事)・監査報告における意見は、あくまでも決算承認に付帯するもので、今後の士会運営一般に直接言及するものではない。ただし、一般社団法人の制度上は、監事には狭義の会計処理だけでなく、業務全般に関する監査権限が付与されており、指摘が不適切とはいえない。
- (副委員長)・一般論としては、副会長ペーパーにあるような組織・業務上の課題や見直しの必要性は存在するかもしれない。
- (副会長)・監事からの指摘にどう応えるかというテーマと、組織・業務の改革の必要性があるか／どう進めるというテーマをごっちゃに提案してしまった。総務企画で議論していただきたい主題は、組織・業務の改革の問題である。
- (八重野委員)・改革論議における総務企画委員会の役割は何なのか。そもそも全員一致で案をまとめるとか、多数決で決めることが可能なテーマなのか。
- (沼田委員)・改革案を誰が作るのかという点が、依然としてすっきりしていないと思う。
- (村島委員)・この委員会の中で、各委員から改革の方向に関する意見を募って、ゼロから案をつくりあげるとのことか。逆に、会長からの「こうしたいがどうか」という諮問を受けて答申するという方が素直と思うが。
- (副会長)・正副会長常任理事会ではアイデアが出ないので、総務企画に丸投げして案を作ってもらおうという意味ではない。ただし、当委員会の委員は支部や有力な委員会をバックボーンにされている方も多いため、何らかのたたき台ができた場合、士会全体をにらみながら合意形成に向けた議論をしていただけるものと期待している。
- (加藤高委員)・当委員会が前面に出るとすれば、各委員会の活動実態の正確な把握と客観的な評価が必要になるが、そうしたことが可能なか不安のあるところ。
- (副委員長)・当委員会に何らかのチェックの役割が期待されることは自然だと思う。
- (副会長)・今回は、もう少し客観的なデータを揃えて提出するので、引き続き議論を願いたい。

## 2 来年度役員改選のための手続き等【資料3】

- ・専務理事から、来年4月の役員改選選挙に関し、役員選任規程の見直しを行う場合のスケジュール案を説明。

(質疑)

(委員長)・見直しが必要となる理由は？

(専務理事)・昨年の総会では、「高齢会員の会費減免措置を廃止しておきながら、選任規程では役員を75歳以下に制限している。義務は同等の一方で、被選挙権という権利を奪うのは不平等ではないか」との意見が出た。

当時の会長からは「75歳は、世話人会としての推薦条件であり、推薦の有無にかかわらず立候補することは禁じていないので、決定的な不平等とはいえない」と答弁しているが、一考を要するところだ。

(村島委員)・細かいところだが「会長推薦の候補者」を決める「会長」とは前会長か新会長か、という点もある。会長交代が確実視される場合、前会長の推薦では新会長の意向が反映されないという問題。

(専務理事)・新会長候補者の意向を踏まえて、前会長が推薦するという運用でカバーするという考え方だ。

(村島委員)・支部長は原則として全員が理事、委員長もできる限り理事就任という形で新理事会が発足した。かつての理事会での、外野席にいるかのような発言はなくなり、執行部の一員としての自覚を持った会議に変わってきていると思うが、そのあたりの検証も必要ではないか。

(八重野委員)・(委員長と理事の兼務等)複数の役職を兼務するのは、自分の経験

からすると、かなり過重な負担になる。特に部会活動など熱心に取り組む場合はなおさらで、2つを超える兼務は無理かなとも感じる。  
(副会長)・何らかの見直しを行うとすれば、次回の委員会で方向を出さなければいけないので、事務局でたたき台を用意したいと思う。引き続き議論願う。

### 3 賛助会員講習会の企画案について【資料4】

・専務理事より、賛助会員の高千穂シラス(株)様から提案された講習会企画案「省エネ・快適・健康な空間づくりにおける左官材の活用」を説明。

また、前回6/15講習会(地震に強い家づくり)の収支状況を報告。かろうじて黒字。(質疑)

(委員長)・同社の製品は使った経験があるが、すぐれた性能と感じた。面白い企画では？

(専務理事)・施工実演も含める場合は会場の選択に制約がかかるかもしれないので、収支改善の意味も含めて、会場費負担を賛助会員側にお願いしたいと考えている。

(副委員長)・今後の講習テーマとしては、沼田委員からも提案のあったBIMが考えられるが。規模の大小を問わず、今後の業務には必須という流れでは？

(専務理事)・教育講習委員会でも企画中のようだ。要調整。

(八重野委員)・BIMの導入もいろいろな観点があり得るので、検討が必要と思う。

(委員長)・開催の日程はどうか？

(専務理事)・試験業務等も考えると10月上旬が妥当か。

・10月上旬開催を目途に、賛助会員様と調整することとした。

### 4 その他

・特になし

## <報告事項>

### 1 賛助会員講習会「地震に強い家をつくる」収支報告【資料5】

・専務理事より報告(前掲)

### 2 賛助会員・特別会員紹介フェイスブックの新設について【資料6】

・副会長より、会員等に対する賛助会員の露出機会を増やし入会促進を図るとの趣旨で、フェイスブックを新設したいと提案。

(質疑)

(副委員長)・賛助会員入会のメリットとしてはチラシ同封費用の軽減もあるので、そのあたりのPRもよろしく願います。

・フェイスブック新設については了承。トップページでのリンクについて情報広報委員会に要請することについても了承。

### 3 その他

・特になし。

## <その他>

### 1 次回及び次回の委員会について

平成28年7月19日(火)18:00～、平成28年9月20日(火)18:00～

## 【今後の日程】

第354会理事会 平成28年7月 日(火)15時～